

# 鼓童文化財団

## 2007 年度 年次報告書



島内数ヶ所に開催地域を広げた EC プレイベント：相川・春日神社能舞台公演

はじめに

皆さま、お変わりございませんでしょうか。

2006 年という年は、1997 年の財団設立から 10 年となる節目の年でした。それまでの鼓童から一步踏みだし社会との対話を目指したこの間の活動は、私共にとって試行と勉強の連続でした。

太鼓や芸能に関する活動に加え、例えば環境への問題意識の高まりから生まれた、佐渡の間伐材を利用した家具「アースファニチャー」事業の展開。また未来に携えるべき思想・知恵・技術などを現代に提案してゆく「鼓童叢書」（第一刊：『佐渡のたらい舟～職人の技法』）の発刊などは、地域社会との繋がりが深まるにつれ、導かれ実現してきたものです。多くの皆さまのご支援を得て、少しずつ活動の枝葉を伸ばすことができました。

そして鼓童結成 25 年、前身の鬼太鼓座から数えれば 35 年。特に、これまでこの土地に住まわせてくださり、様々な教えをいただいていた佐渡の皆様と風土にあらためて感謝しますと共に、

今後は佐渡の島と、人々のお役に立つことを活動の大きな柱にしたいと考えています。

昨年、文京区からいただいた事業提携のお話も、2007 年は佐渡と東京を結ぶ新たな人の流れを創り出してゆく年となります。また、昨年 11 月にオープンした佐渡市の「佐渡太鼓体験交流館」は、この度、鼓童文化財団が指定管理者の指定を受けました。昔は日本のどこにも存在した美しい自然、その豊かな佐渡で、現在は忘れられがちな生活文化や芸能を再発見し、新たな現代の営みを考えていく拠点になればと願っています。

島内から国内から、また海外からも誰もが気軽に出入りできるグローバルなコミュニティを目指し、運営に力を注いでまいります。

今年もまた、皆さまの更なるご支援とご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。

2008 年 3 月  
財団法人 鼓童文化財団 理事長 島崎信

# 2007 年度 実施事業

(2007 年 1 月 1 日～ 2007 年 12 月 31 日)

文章中、特に明記のないものは佐渡島内の活動です。

## 1、ワークショップ、講演、シンポジウムなどの開催

太鼓は芸術的な表現媒体である前に、人と人、人と地域を結ぶコミュニケーションの手段であると私たちは考えます。鼓童文化財団では太鼓を使ったワークショップなどを積極的に開催し、演奏における技術指導よりも個々人の可能性をいかに引き出すかに重点をおいた実践研究を行なって、地域に根ざした社会活動の一環として取り組んでいきたいと思ひます。

### ■ 北米ワークショップツアー (KASA 主催事業)

2 / 8 ~ 3 / 11 講師: 小島千絵子、渡辺薫  
(実施都市: ホノルル / マウイ / ロサンゼルス / サンノゼ / ウィニペグ / セントレイス / ミネアポリス / ボストン / ニューヨーク)  
※ワークショップにとどまらず、各地の太鼓グループ主催のミニコンサートやジョイントコンサートなどにも出演



北米ワークショップツアー

### ■ 太鼓体験塾 サンバ篇、和太鼓篇 (EC プレイバント)

6 / 9 ~ 17 のべ 150 名参加  
講師: 山口康子、石原泰彦 アシスタント: 研修生  
実施地域: 佐渡島内 相川地区、佐和田地区、  
真野地区、新穂地区、鼓童村



鼓童村: 修学旅行ワークショップ

### ■ 鼓童塾 (齊藤栄一の太鼓篇) 於: 柿野浦研修所

9 / 20 ~ 9 / 24 20 名参加  
講師: 齊藤栄一、アシスタント: 研修生



研修生野外稽古

### ■ 研修生と佐渡の学生との交流公演

3 / 16 羽茂中学校 1 年 40 名対象  
10 / 18 金井中学校 1 年 ~ 3 年 200 名対象  
6 月、10 月 松ヶ崎中学校交流会

### ■ 地域の学生への授業および教育機関との連携ほか

- ・大井良明 深浦小・中学校「岬太鼓」、「岬組」指導 通年
- ・山口幹文 羽茂高校講演「芸能講座」 3 月  
両津高校学術講演会 3 月
- ・藤本容子 小木小学校 唄ワークショップ 11 月
- ・齊藤栄一 小木小学校 太鼓ワークショップ 10 月
- ・石原泰彦 (補佐: 研修生)  
両津地区公立保育園児対象 太鼓体験 10 月  
両津 親子ふれあい太鼓体験 11 月
- ・宮崎正美 羽茂 親子ふれあい学級太鼓体験 1 月



24 期研修生修了式

## 2、伝統文化の再創造に関する研修および実践（研修所）

鼓童文化財団に所属する研修所では、広く内外から研修生を募集し、豊かな自然と芸能の宝庫である佐渡において、体験的学習を通して次代に伝えるべき新しい伝統の創造を目指します。研修制度は2年制で、1年目は伝統文化の基礎を研修する総合課程、2年目は鼓童の活動を通じて実践的な力を養う専門課程となります。

1、2年合わせて17名が佐渡市柿野浦の旧岩首中学校校舎で研修生活を送りました。

1年生 10名 総合課程 芸能の基本を学ぶ

2年生 7名 専門課程 舞台芸術関係の専門分野を学ぶ

2008年1月をもって1年10ヶ月の研修を修了した25期生は乾雅雄、高田大介、松井貴弘、守田充利、山本信介、大場幸恵、和田瑞穂の7名。それぞれの新たな目標に向かい、巣だっていきました。

10ヶ月の総合課程を修了した1年生は草洋介、ジョーゼフ・スモール、西村信之、野崎次郎、村下正幸、望月成志郎、内田依利、小見麻梨子、相楽逸枝、高橋菜生子の11名。そのうち8名が2年生として進級しました。

また2007年度の1年生（2007年4月入所）から、2年目は鼓童の舞台・スタッフを目指す者に限定。2008年1月の進級選考で人数を絞り専門分野に臨む体制としました。また同時に、舞台は目指さずとも佐渡に残り、農業・モノ作り・文化・芸能などをより深く学びたい希望の者には、地元の方と手を結んで財団が協力していく準備を進めています。2008年度はそうした若者への支援も具体的に充実させてまいります。

（特集記事：鼓童機関誌12月号）

## 3、アクション・ライブラリーの運営

鼓童の国内外での活動記録をはじめ、佐渡で開催している国際芸術祭「アース・セレブレーション」の足跡、および伝統文化についての調査研究・資料収集の成果を、広く国内外の方々に利用していただくための図書館を将来的に運営したいと計画しています。これは関連図書・音響映像・収集資料を展示紹介してだけでなく、一般の方々がより親しみやすく相談し参加体験できる形を模索したアクション・ライブラリーとして「行動する図書館」を目指すもので、インターネットなどを通じて情報を公開していきたいと思えます。

■ 鼓童の書籍・ビデオ等約10000冊、レコード6000枚についての整理が終了しました。寄贈いただいたCD14000枚を含む、新規・寄贈資料への対応をすすめています。

■ 鼓童ホームページ（日本語・英語）は月に1度ほど更新をしています。月平均約5,000件のアクセスがありました。

## 4、国際芸術祭「アース・セレブレーション（EC）」の実施

鼓童が地元の市町村とともに実行委員会を組織し、'88年より毎年開催している国際芸術祭を、今後ともその質的向上を目指して実施していきます。この芸術祭では、世界各地の民族音楽・芸能の専門家や研究者を招き、佐渡の自然の中で新しい「地球文化」の可能性を探るとともに、各地の伝統文化の紹介を通じてその振興をはかっています。海外からの参加者を積極的に働きかけて国際交流を促進し、次の世代への芸術的な基盤形成につとめます。

8/17～19に行われた本芸術祭では、20周年を記念し、城山コンサートのゲストに佐藤太圭子氏率いる琉球芸能団と、これまでの出演者の中からご好評をいただいたアーティスト（山下洋輔、三宅島芸能同志会、ザキール・フセイン、ジョヴァンニ・イダルゴ、タマンゴ、松田美緒）の各氏を迎え、のべ7,700人の方が佐渡市小木に集いました。

また昨年に引き続き島内開催地域を広げ、3ヶ所の能舞台にて「太鼓と能楽の祭典」と題したイベントを開催しました。また能と狂言の体験ワークショップを初めて行い、ご好評いただきました。

（能：観世流 津村禮次郎氏／狂言：和泉流 小笠原匡氏）

- ・8/11 相川・春日神社能舞台
- ・8/12 両津・諏訪神社能舞台
- ・8/13 真野・大膳神社能舞台

（特集記事：鼓童機関誌10月号）

出演者

### ■ 城山コンサート

- ・琉球芸能団（琉球舞踊）
- ・三宅島芸能同志会（三宅島神着木遣太鼓）
- ・山下洋輔（ジャズピアノ）
- ・松田美緒（ヴォーカル）
- ・ザキール・フセイン（タブラ／インド）
- ・ジョヴァンニ・イダルゴ  
（パーカッション／プエルトリコ）
- ・タマンゴ（タップダンス／フランス領ギアナ）
- ・鼓童



EC イベント  
新作品「トキ」



## ■ ワークショップ等

- ・タマンゴ「ユニバーサルリズム」
- ・琉球芸能団「レクチャー琉球音楽の歴史／琉球舞踊体験」
- ・蘭情「蘭情さんの笛工房」
- ・浅野昭利「太鼓づくり」
- ・三宅島芸能同志会の皆さん「三宅太鼓」
- ・春日鬼組の皆さん「春日鬼太鼓」
- ・小木の皆さん「小木おけさ」
- ・富田和明「太鼓アイランド佐渡」
- ・金子竜太郎「ゆるんでたいて」
- ・藤本吉利「岩崎伝・佐渡鬼剣舞」
- ・藤本容子「ヴォイス・サークル」
- ・宮崎正美「打たにゃンドン」
- ・小島千絵子「千絵子流女打ちの基本」



EC 城山コンサート：タマンゴ・アーバンタップと鼓童

## ■ 特別フリンジ等

- ・岩崎鬼剣舞（岩手県北上市）
- ・琉球芸能団（沖縄）
- ・三宅島芸能同志会（東京都）
- ・富田和明、齊藤栄一「和太鼓トーク齊富佐渡スペシャル」
- ・ウィンドアンサンブル佐渡
- ・城腰花笠踊り保存会、中原青年会、潟上鬼太鼓の皆さん「佐渡の芸能」
- ・春日鬼組「鬼太鼓門付け」
- ・小木の皆さん「小木おけさ流し」



EC フリンジ：PAL & 鼓童

## ■ 展示、見学など

- ・「EC20年の歩み」 「刺し子・裂き織り」展
- ・真砂秀朗 絵と音展「観音」
- ・木と遊ぶ研究所「鼓童村公開、森の案内」
- ・佐渡太鼓体験交流館見学+小木半島周遊ツアー



EC ワークショップ：「太鼓づくり」

## 5、伝統文化に関する調査研究および資料収集

人類が長い年月を経てかたちづくり、伝えてきた世界各地の様々な伝統文化（特に民族音楽・芸能・工芸）、とりわけ佐渡を中心とした調査研究を行なうと同時に、その資料収集を積極的に進めます。

### ■ アース・フェニチャー

（佐渡の杉で創る、地域循環型の生涯家具）

佐渡内での販売に加え、昨年の両津港に続き10月には佐渡汽船小木港待合室にもベンチが設置されました。

### ■ 内閣官房全国都市再生モデル調査

（2006年6月～2007年3月）

「地域資源を活かした体験交流プログラム開発による『出会いと学びの島』づくり」を受託。佐渡の体験交流プログラムの現状・課題などを調査しました。

### ■ 鬼太鼓の森づくり事業

未整備になっている国有林を民間主導で整備し、それぞれの地域の特色ある木の文化を支える森づくりを目指す佐渡市の事業。鬼太鼓に象徴される佐渡の豊かな芸能を未来に繋ぐ思



EC フリンジ：「佐渡の芸能」 相川地区・戸地の白羽

いで『鬼太鼓の森づくり』とネーミングし、当財団も1月より協議会員として参加。10月の植樹祭では、鼓童メンバーと研修生による奉納演奏を行いました。なお佐渡市からの委託を受け、上越の「木と遊ぶ研究所」の関原氏（当財団評議員）が事業計画を作成。また植樹祭に先立つ9月に開催された太鼓体験交流館におけるシンポジウムに、当財団理事の浅野昭利氏が基調講演を行い、財団理事長の島崎信がパネルディスカッションに参加しました。

■新潟県「地域資源型ビジネス提案・成果評価事業」認定  
鼓童文化財団、佐渡市真野自然活用村公社、法人佐渡島・海の体験学習協会の3者により新しい体験旅行のモデルプログラムを開発していく事業。現在既に実施している太鼓体験、そば打体験、漁師体験などを連携させ、テーマに沿った本物の体験を提供し、「出会いと学びの島」佐渡を、通年に渡る体験旅行のメッカとして国内外に発信していくことを目的としています。  
(実施期間は来年3月まで)

## 6、伝統文化研究者・文化活動制作者への支援

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能の修得と、現代的な再創造を試みる集団「鼓童」。その鼓童に所属する研究者の調査・稽古・創作活動に対して支援を行なっています。また、文化活動の現場を支える制作者の受け入れや、関連団体への派遣なども行ない、国内外での文化交流を推進します。

■1月に佐和田で行われた「佐渡吹奏楽フェスティバル」に協賛しました。

■4月～7月まで東京・府中市郷土の森博物館にて開催された特別展「宮本常一の足跡～旅する民俗学者の遺産」に、直筆の手紙や写真の貸し出しなどの協力をしました。

■6月に佐和田で行われたオペラ『夕鶴』を後援しました。

■8月にアメリカ・シアトルで行われた北米太鼓会議に、今年は5,000ドル寄付という形で協力、またKASAへも5,000ドルの寄付を行いました。

### ■国土交通省観光ルネサンス事業

観光地の国際競争力の向上を促進する制度としての「観光ルネサンス」事業を、(社)佐渡観光協会が受託。佐渡観光を再構築していく目的のもと、9つの個別事業を島内のNPO、各団体、市など共同にて実施するもの。当財団も「佐渡アイランド・ガイド・システム事業」で共同事業者の1団体として事業を推進しています。



アースファニチャー：佐渡汽船両津港待合室

## 7、年次報告書および関連図書の刊行

鼓童文化財団では、1年間の活動を報告し、事業や財団施設の利用情報を提供する年次報告書を発行します。また、研究・創造活動の成果を発表する出版物も随時発行します。

■年次報告書を4月に発行し、鼓童の会の会員の方、鼓童文化財団に寄付を寄せてくださった方々にお届けしました。

## 8、鼓童の会の運営

鼓童文化財団は鼓童の活動に社会的な価値を見だし、共感する個人によって支援される「鼓童の会」を運営します。毎月発行される機関誌を送付して活動への参加を呼びかけ、今後の事業に対する希望を募ります。

■鼓童の会の会員の方々をはじめ各関係者に機関誌（月刊「鼓童」を年11回、あるいは英文季刊誌「Kodo Beat」を年4回）お送りしています。

## 9、佐渡太鼓体験交流館の運営

鼓童村に隣接する場所に「佐渡太鼓体験交流館」が完成。太鼓の伝承と体験を行う拠点として、佐渡市が国土交通省の離島体験滞在交流促進事業を活用して昨年11月に完成したものです。2007年4月から、当財団が指定管理者として運営にあたってきました。愛称を「たたこ館」とし、佐渡のより多くの方々に足を運んでいただこうと、6月と9月に「たたこ館まつり」を開催。全館を使って、太鼓・そば打ち・お菓子づくりなどの体験や、クラフト市、子供の遊び場、地元の芸能の紹介、ゲストに永六輔氏を迎えた花結公演など、沢山の皆様にご来場いただきました。

4/1～12/18までの総来館者数は7,954人。太鼓体験利用数は2,615人（うち、修学旅行での太鼓体験利用者数1,428人）。

■ 主な実施事業

○ 太鼓体験

修学旅行 (計 40 校:新潟県内小学校) / 島内学校 (10 校)  
 / 研修旅行 (佐渡島内企業) / 一般、佐渡ツアー企画 (JR  
 びゅう、小田急トラベル、大人の休日など) / 一般その他

○ そば打ち体験、小木のお菓子作り体験

(主に島内学校、企業、個人など)

○ たたこ館まつり (水無月まつり / 長月まつり)

○ 展示企画 (8月～10月「宮本常一～佐渡・鼓童」)

○ 施設貸出

・ホール (鼓童・研修生稽古、佐渡鬼剣舞稽古、鬼太鼓  
 の森づくりシンポジウム、観光カリスマ会議、結婚式会場、  
 EC ワークショップなど)

・伝統料理体験室 (そば打ち友の会など)

・会議室 (茶道稽古、環境講座など)



佐渡太鼓体験交流館



奄美大島：八月踊り取材

2007 年度 決算

収支計算書 2007 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで

(単位:円)

増加原因の部		減少原因の部	
1. 基本財産運用収入	5,921,429	1. 事業費	66,628,298
2. 入会金収入	230,000	2. 管理費	5,857,596
3. 会費収入	6,553,000	3. 什器備品減価償却額	76,970
4. 法人会費収入	100,000	4. 車両運搬具減価償却額	242,898
5. 事業収入	48,651,765	5. 繰越資産償却額	40,000
6. 補助金等収入	1,206,940		
7. 寄付金収入	3,567,082		
8. 雑収入	1,447,386		
当期収入合計 (A)	67,677,602	当期支出合計 (C)	72,845,762
		当期正味財産増加額 (A) - (C)	-5,168,160
		前期繰越正味財産額	114,935,502
		期末正味財産合計額	109,767,342

貸借対照表 2007 年 12 月 31 日現在

(単位:円)

資産の部		負債および正味財産の部			
流動資産	現金	291,987	流動負債	未払金	6,251,534
	預金	3,703,348		預り金	49,665
	未収金	5,629,870		仮受金	0
	仮払金	1,421,882		(負債合計)	6,301,199
	その他	3,453,666	正味財産		109,767,342
固定資産	基本財産	100,211,931	(うち基本金)		100,211,931
	固定資産 (什器備品・車両)	1,315,749	(当期正味財産増加額)		1,731,178
繰越資産	製品開発費	40,108			
資産合計		116,068,541	負債および正味財産合計		116,068,541

# 2008 年度 事業計画

1. ワークショップ、講演、セミナーなどの開催
  - (1) 太鼓体験塾（島内 5 回）
  - (2) 鼓童塾 太鼓篇、ヴォイス・サークル篇 … 各 1 回
  - (3) 研修生と佐渡の中学生との交流公演 … 3 回
  - (4) 地域の学校への出前授業および交流
  - (5) KASA/MIX ツアー
  - (6) 北米ワークショップツアー（花結、渡辺薫）
  - (7) 文京区提携事業
  - (8) 永六輔佐渡島内講演会
  - (9) 森林ワークショップ
2. 伝統文化の再創造に関する研修および実践（研修所）
  - (1) 総合課程：芸能の基本、暮らしの基本を学ぶ  
4 月～翌 1 月 約 12 名
  - (2) 専門課程：鼓童メンバー育成に向けて、舞台・スタッフ志望別研修 2 月～翌 1 月 約 8 名
3. アクション・ライブラリーの運営
  - (1) 民俗芸能関係の収集資料の整理
  - (2) 図書・映像資料の整理
  - (3) 図書管理システムの運用
  - (4) インターネット・ホームページの運営
4. 国際芸術祭「アース・セレブレーション」の共催
  - (1) 日本ブラジル交流年提携企画
  - (2) EC エコロジー企画
  - (3) 能楽公演を島内 3 カ所の能舞台で展開
5. 伝統文化に関する調査研究および資料収集
  - (1) 鼓童舞台演目の現地調査研究
  - (2) 鬼太鼓調査研究
  - (3) 地域資源型ビジネス提案・成果評価事業
6. 伝統文化研究者・文化活動制作者への支援
  - (1) 鼓童メンバー研修支援
  - (2) 体験交流プログラム開発
  - (3) 佐渡観光ルネサンス事業
7. 年次報告書および関連図書の刊行
  - (1) 年次報告書の発行
  - (2) 鼓童叢書第 2 号刊行準備
8. 鼓童の会の運営  
月刊機関誌「鼓童」、季刊英字機関誌「Kodo Beat」の発送、名簿の管理、会員募集
9. アースファニチャー事業  
アースファニチャー佐渡の企画販売
10. 佐渡太鼓体験交流館の運営  
ワークショップ、伝統料理教室、ミニコンサート、講演等と施設借用
11. その他  
広報活動

## 財団法人 鼓童文化財団 役員・評議員（2008 年 4 月 1 日現在、50 音順）

理事長	島崎 信	武蔵野美術大学名誉教授
副理事長	山口幹文	鼓童演出顧問
常務理事	青木孝夫	鼓童代表
理事	浅野昭利	財団法人浅野太鼓文化研究所理事長
	高野宏一郎	佐渡市長
	森 千二	音楽プロデューサー
監事	荒井久夫	税理士
	佐藤一行	鼓童会計顧問
評議員	五十嵐實	税理士、日本自然環境専門学校長
	伊藤文吉	財団法人北方文化博物館館長
	永 六輔	作家
	佐々木 愛	劇団文化座代表、女優
	関原 剛	協同組合ウッドワーク顧問
	等々力好泰	新潟トヨタ自動車株式会社社長
	富田 勲	作曲家
	中川忠夫	元小木町長
	姫田忠義	民族文化映像研究所所長
	クリストファー・遙盟・プレイズデル	尺八演奏家、国際文化会館芸術プログラムアドバイザー
	ロビン・ベリントン	元駐日アメリカ大使館 文化参事官
	本間雅彦	元佐渡・畑野町史編纂委員長
	マーク・ロス	ダイオラマ文化センター ディレクター
	武者利光	東京工業大学名誉教授、ゆらぎ研究所、脳機能研究所所長



## 2007 年度 寄付者一覧

2007 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに寄付をくださった方々は以下の通りです。(敬称略。1 口 1,000 円)

- 1000 口 堀口智顕、オールトヨタモーターショー in 新潟  
 100 口 (有) オフセンター  
 69 口 逸見正平  
 30 口 横川賢一、蘭情  
 25 口 クリストファー・遥盟・プレイズデル  
 20 口 伊藤富貴子、佐々木愛、武井京子、前田司  
 10 口 赤名卓大、石垣清美、石塚美佐子、岩本光世、植松功、内田和子、大蔵喜久江、奥川里美、奥山雅子、黒柳徹子、幸田国際特許事務所、五味祐子、谷口正厚、筒井祖晋、名畑恵子、土師慶子、林洋子、舟見正子、堀内路子、宮本光、望月さなえ、山岸稔秋

※ 年次報告書への名前掲載を希望しない方の寄付金額、および 10 口以下の方の寄付金額の小計 3,013,082 円  
 上記の寄付総合計 3,567,082 円

※ 2007 年度 法人会員  
 (有) オフセンター

たくさんのご支援をありがとうございました。



2006 年度研修生

## 財団へのご支援をお願いいたします。

財団法人 鼓童文化財団は、趣旨に賛同くださる皆様のご支援により活動を進めております。

### 【寄付】

■ 寄付は 1 口 1,000 円単位で随時受け付け、毎年 4 月に発行する年次報告書をお送りします。年に 10 口以上お申し込みいただいた方には、年次報告書にご希望によりお名前と金額を掲載させていただきます。

■ ご送金は郵便局備え付けの郵便振替用紙に、お名前、ご住所をお書き添えの上、「00690 - 9 - 25829 (財) 鼓童文化財団」宛にお願いします。鼓童の会にすでにお入りの方は会員番号を、また年次報告書に名前と金額の掲載を希望しない場合は、その旨を通信欄にご記入下さい。

団体名と個人名を併記されている場合は個人名での掲載とさせていただきます。また、財団への寄付は鼓童の会の会費とは異なりますのでご確認下さい。

### 【後援会と、法人会員制度】

■ 鼓童グループは、公演企画制作や商品開発、販売業務を行う (株) 北前船と、著作権管理を行う (有) 音大工、そして (財) 鼓童文化財団という 3 つの法人で構成されています。研修所の運営や伝統文化の調査研究などを行う財団の事業は、鼓童の活動の根幹を担うものです。

■ 鼓童文化財団は、皆様のご寄付と鼓童の会の会費で支えられています。鼓童の会には友の会・後援会・賛助会の 3 種類がありますが、財団の活動を支援する気持ちを強くお持ちの方は「後援会」(年会費 1 万円)へご入会いただければ幸いです。すでに、友の会や賛助会にお入りの方の後援会への切り替えも随時受付いたしております。

■ また、法人会員制度も設けております。詳しくは下記事務局までお気軽にお尋ね下さい。

財団法人 鼓童文化財団 2007 年度 年次報告書 2008 年 4 月 10 日発行  
 発行責任者…島崎信、編集…菅野敦司、千田倫子  
 写真…吉田励、宮川舞子、田中文太郎、鼓童

財団法人 鼓童文化財団：

〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田 148-1 鼓童村

TEL. 0259-81-4100 FAX. 0259-86-3631

E-mail. zaidan@kodo.or.jp

http://www.kodo.or.jp